

初夏を迎え、気温がぐっと上がりました。草木の勢いも最盛期を迎えます。所々いい雨が降りましたが、年々夕立が減っている気がします。



先月から引き続き、残りの田植えを行いました。晩生寄りのうるち米や、もち米、赤米は毎年7月上旬の田植えとなります。コシヒカリなど寒冷地では5月上旬に田植えを終えているので、すごい差ですね。今年も無事収穫できるよう努め、後は祈ります。



田植え後は水管理と、除草、草刈りがメインの作業になります。この除草作業が果てしなく大変で、畔からの侵入や、中で繁殖してしまった雑草をひたすら手作業で取り除きます。



畑ではじゃがいも、カボチャ、白瓜の収穫を迎えました。まだ土づくりの途中の畑ですが、まずまずの出来栄となりました。カボチャとじゃがいもは保管できるため、夏の食卓を彩ります。白瓜は漬物の材料として利用されました。